

目次

推薦の序	i
推薦の序	iii
本書を読むにあたって	v

緒論 1

第1章 五行理論の基礎 3

1-1 五行と五臓の関係	3
●五行の特性	4
●五臓の特性	4
1-2 五行の相生・相克・相乗・相侮	5
●相生	6
●相克	7
●相乗と相侮	9
1-3 五行理論にもとづく五臓のつながり	9
1-4 五臓の生理と病理	11
1-4-1 肝胆の病証	11
●肝胆の病証（虚証あるいは虚実挟雑）の考え方	12
●肝胆の病証（実証あるいは虚実挟雑）の考え方	13
1-4-2 心と小腸の病証	14
1-4-3 脾胃の病証	16
1-4-4 肺と大腸の病証	18
1-4-5 腎と膀胱の病証	20

1-5 五行にもとづく臓腑病変の伝変	22
●相生（母子関係）による伝変と治療	22
●相乗・相侮関係の伝変と治療	23

第2章 『蕉窓雑話』にみる五行理論 25

2-1 症例	26
2-2 和田東郭の五行理論による臓器間相関考	29

第3章 相生・相克・相乗・相侮症例の検討 31

3-1 心脾同病	31
3-2 脾肺同病	39
3-3 肺腎同病	45
3-4 肝腎同病	54
3-5 肝心同病	60
3-6 肝脾同病	68
3-7 肝肺同病	73
3-8 心肺同病	80
3-9 心腎同病	88
3-10 脾腎同病	95

第4章 五行理論を使った治療戦略 107

症例1 男性更年期	109
症例2 化学物質過敏症・喘息	113
症例3 潰瘍性大腸炎	117
症例4 月経困難症・冷え症	121

附表

127

あとがき	143
索引	145